

# 平成28年度 教育事業 おおすみくん家 キッズたんけんたい①②

- 1 趣 旨 小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行い、仲間と関わったり、遊んだり、協力したりする体験を通して、自分に自信を持てるようにするとともに、体験活動の好きな子供を育てる。
- 2 期 日 ①平成28年10月22日(土)～23日(日) 1泊2日  
②平成28年11月5日(土)～6日(日) 1泊2日
- 3 対象者 小学1・2・3年生
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 ①43人(申込者数195人)  
②43人(申込者数105人)
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日程と主な活動



1 日 目		2 日 目	
10:00	・受 付	6:00	・起 床
10:30	・出会いのつどい		・荷物の整理
	・オリエンテーション	7:30	・朝食(レストラン)
10:45	<チャレンジ1>		
	「ふれあいタイム」	9:00	<チャレンジ5>
12:00	・昼 食(レストラン)		「科学で遊ぼう」
13:30	<チャレンジ2>		・スライム作り体験
	「秋さがしにいこう」		・ジャンボシャボン玉
15:00	<チャレンジ3>		・空気砲
	「遊びリンピックにチャレンジ」		・プラホビー
18:00	・夕 食(レストラン)	12:00	・昼 食
19:00	<チャレンジ4>	13:00	・ふりかえりタイム
	「どんぐりクラフト」	13:30	・別れのつどい
20:00	・入浴, 就寝準備	14:00	・解 散
21:00	・就 寝		

- 8 事業運営について  
今回は、基本的な生活習慣、季節に応じた自然体験活動、科学的な要素を含んだ体験活動を位置付けプログラムを計画した。
- (1) 早寝早起き朝ごはんの実施や食事および寝具の準備、後片付け等の活動を通して、基本的な生活習慣への意識を高めさせるようにした。
- (2) 山を散策しながらどんぐりや木の実を拾い、それを使ってクラフト活動を行うことで、自然とふれあう良さを体感できるようにした。
- (3) 科学的な遊びを通して、科学のおもしろさや不思議さを体感し、体験することの楽しさを味わえるようにした。



## 9 事業実際

### (1) 基本的な生活習慣への意識付け

共同生活を通して、「自分のことは自分でする」を目標に、食事の準備や後片付け、寝具の準備、後片付け、整理整頓など生活体験を多く取り入れた。初めて自分で行う児童も多く、悪戦苦闘しながらも、しっかりと取り組んでいた。

### (2) 秋さがしに行こう

所内周辺を歩きながら、クラフトの材料（どんぐりや木の実、小枝など）を拾った。天気も良く、材料も豊富で、みんな袋いっぱいのだんぐりや松ぼっくり、その他の木の実を拾い、秋探しを楽しんだ。

### (3) 遊びリンピックにチャレンジ

遊びリンピックでは、割りばしダーツ、空き缶積み、カード集めじゃんけんの3種類のゲームを実施した。低学年でも簡単にできる内容で、参加した子供たちは真剣に取り組んでいた。空き缶積みでは、新記録が出るたびに歓声があり、それぞれが目標を持って取り組む姿が見られた。

### (4) どんぐりクラフト

集めた材料を使って、思い思いのクラフト作りにチャレンジした。どんぐりや木の枝、松ぼっくりなどをうまく組み合わせ、個性豊かな作品ができあがった。完成後は、全作品を机上に展示し、みんなで鑑賞した。鑑賞することで友達の作品の良さや自分の作品の良さに気付くことができた。

### (5) 科学で遊ぼう

科学的な要素を含んだ活動を通して、その不思議さや楽しさを味わってもらう目的で実施した。内容はスライム作り、空気砲、ジャンボシャボン玉、プラホビー作りの4種類で、全てのコーナーを各班で回りながら体験した。

普段なかなか体験できない内容も多く、子供たちの関心は高かった。楽しい遊びを取り入れながら、科学の不思議さに興味を示し、充実したひと時を過ごすことができた。

## 10 参加者の感想

- 一人でお風呂に入れたし、お布団を敷くこともできた。
- 仲良しの友だちがいっぱいできた。また参加したい。
- いろんな物を作るのが楽しかった。
- 友だちといっしょに食べたり、話したり、寝たことがとても楽しかった。

## 11 成果

- 共同生活を通して、「早寝早起き朝ごはん」運動を意識させることができた。
- 事業全体を通して、子供たちの交流を深め、協力し合うことの大切さを意識付けることができた。
- 3年生を班長にしたことで、リーダーとして責任感を養うことができた。
- 自然体験活動や科学体験活動を取り入れたことで、その良さや不思議さなど興味・関心を高めることができた。
- 親元を離れ、自分のことは自分で行う生活体験を通して、子供たちの自立心を養うことができた。

